

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【公開番号】特開2002-363459(P2002-363459A)

【公開日】平成14年12月18日(2002.12.18)

【出願番号】特願2001-170559(P2001-170559)

【国際特許分類】

C 0 9 D	11/00	(2006.01)
B 4 1 M	5/00	(2006.01)
B 4 1 J	2/01	(2006.01)

【F I】

C 0 9 D	11/00	
B 4 1 M	5/00	A
B 4 1 M	5/00	E
B 4 1 J	3/04	1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月2日(2008.6.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】少なくとも水と、着色剤と、カチオン系水系ポリマーとを含み、pHが低下することによりゲル化するインクを2色以上、独立して含むインクセットであって、少なくとも2色のインクのpHおよびゲル化pHが異なることを特徴とするインクセット。

【請求項2】ゲル化pHを持つインク(A)と、インク(A)より低いゲル化pHを持つインク(B)において、インク(B)のpHが、インク(A)のゲル化pHより低いという関係が2色以上のインク間で成り立つ請求項1に記載のインクセット。

【請求項3】ゲル化pHを持つインク間のpH差が1以上である関係が2色以上のインク間で成り立つ請求項1または2に記載のインクセット。

【請求項4】前記インクのいずれかが、分子量200以下のアミンを含む請求項1～3のいずれか1項に記載のインクセット。

【請求項5】前記インクのpHが、いずれも8以上である請求項1～4のいずれか1項に記載のインクセット。

【請求項6】複数のインクを付着させて被記録材に印字を行う記録方法であって、インクとして請求項1～5のいずれか1項に記載のインクセットを用いることを特徴とする記録方法。

【請求項7】複数のインクを飛翔させ、該インクを被記録材に付着させて印字を行うインクジェット記録方法であって、インクとして請求項1～5のいずれか1項に記載のインクセットを用いることを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項8】pHの低いインクを先に被記録材に付着させて印字を行い、次にpHの高いインクを被記録材に付着させて印字を行う請求項7に記載のインクジェット記録方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記目的は以下の本発明により達成される。すなわち、本発明は、2色以上のインクを用いて、被記録材にインク滴を吐出させてカラー画像記録を行うインクセットにおいて、少なくとも水と、着色剤と、カチオン系水系ポリマーとを含み、pHが低下することによりゲル化するインクを2色以上、独立して含むインクセットであって、少なくとも2色のインクのpHおよびゲル化pHが異なることを特徴とするインクセット、および該インクセットを用いる記録方法を提供する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【発明の実施の形態】

次に好ましい実施の形態を挙げて本発明をさらに詳細に説明する。

本発明によるインクセットは、基本的に、少なくとも水と、着色剤と、カチオン系水系ポリマーとを含み、pHが低下することによりゲル化するインクを2色以上、独立して含むインクセットであって、少なくとも2色のインクのpHおよびゲル化pHが異なることを特徴としている。